

狙いのク21ル着大が晋成ト左の首ツを勝

三将

長男寛仁親王、14年に次男桂宮が亡くなり、3人の息子全員に先立たれる悲しみを経験した。葬儀に当たる儀式で気丈に振る舞ったが、元宮内

「山の上ホテル」明大取得

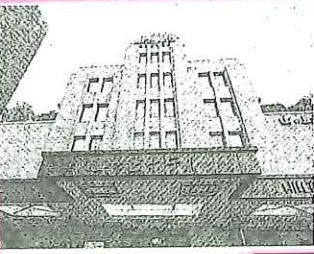
明治大が15日、文豪の定宿として知られ、建物の老朽化のため休業中の東京都千代田区の「山の上ホテル」の土地と建物を取得したと発表した。山の上ホテルは1954年に開業し、今年2月12日に借しまれながらいったん営業を終えていた。2031年の明大創立150周年の記念事業の一環で、改修した上でホテルとして営業再開を目指す。一部を、日本人だけでなく、留学生も含めた学生寮として活用する計画もあるという。同大は営業の再開時期は未定だが、外観は維持したまま、

2月休業の文豪の定宿 改修し営業再開目指す

大学の新たなシンボルとして継承していきたいとしている。山の上ホテルは、同大駿河台キャンパスの10号館、研究棟などの建物に囲まれている。近代的な高層ビルの中で、独特なレトロな外観が観光名所にもなっている。立地だけでなく、歴史的にも同大と関係が深い。同大によると、アールデコ様式のホテルの建物は卒業生で石炭商だった佐藤慶太郎の寄付を基に米国の建築家ポーリスが設計し、1937年に「佐藤新興生活館」の名称で建てられた。戦時中は海軍、戦後はGHQに接収された。返還後の54年1月、山の上ホテルとして営業を始めた。東京の中心に位置しながら静かで、独特な雰囲気を漂わせるホテルは、川端康成、三島

由紀夫、池波正太郎らの文豪が宿泊の場とし、食事を取った。周囲に大手出版社が多いことから、作家が住み始めるホテルでもあった。昨年11月になくなった直木賞作家の伊集院静さんも約20年間、定宿にしていた。休業中のホテルも公式サイトで「歴史と伝統を継承いただき、更に発展していくことを願っております」とコメント

東京市場(15日) 円(午後5時) 相場時 株(終) 式(値)



明大が取得した「山の上ホテル」は、改修しホテルとして営業再開を目指す

第2603回東京宝くじ 1等 3000万円 09組 127076 28組 183210

第2473回西日本宝くじ 1等 3000万円 31組 181492 12組 195827

第2787回近畿宝くじ 1等 3000万円 24組 196905 28組 186962

第2665回関東・中部・東北宝くじ 1等 3000万円 68組 109954 52組 111406

ナンプレ&棋塾解答 1 4 3 7 2 8 5 9 6 6 2 8 5 4 9 7 3 1

第601回数数字選択式 全国宝くじロト7 本数字 04 08 18 20 29 35 37

第6601回数数字選択式全国宝くじナンバーズ ナンバーズ4 3631

ナンバーズ3 0911